

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Gコート 第5試合 本庄総合公園体育館(シルクドーム)

チームA		16 - 20		チームB
県立富岡東	67	16 - 12	66	県立福島西高
徳島		15 - 19		福島
		20 - 15		

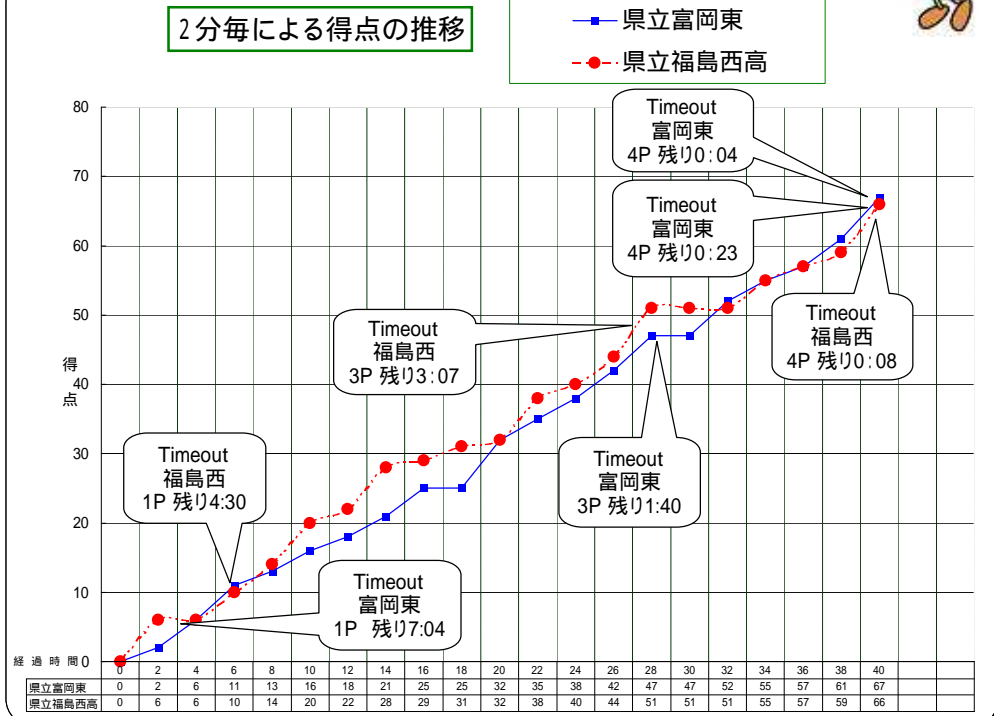
県立富岡東

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	水上 智賀	X	2	0	2	1	3	0	2	3	1	4	5	5	7	1	39
5	尾野 里紗	X	11	1	8	4	6	0	0	3	2	0	1	2	2	1	38
6	渋川 郁子	/	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
7	遠藤 紗織	X	11	1	2	4	5	0	3	4	1	7	1	6	1	2	29
8	森 彩香	/	3	1	1	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3
9	山口 真由	/	4	0	0	2	3	0	0	0	0	1	1	0	0	1	12
10	坂本 香澄	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	奥原 左智	X	26	2	7	8	16	4	5	4	4	5	4	0	2	1	38
12	住谷 こころ	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	河野 真奈	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	木下 優菜	X	10	2	7	2	4	0	0	4	2	2	3	5	3	0	39
15	森 絵利香	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	木下 博順	/	/	/	/	/	/	/	/	0	3	10	/	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場		67	7	27	21	39	4	10	19	13	29	18	19	15	6	200	
確率		25.9%	53.8%	40.0%	計		42										

県立福島西高

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	箭内 瞳	X	26	0	0	10	22	6	12	3	6	11	6	1	1	3	40
5	高田 渚	X	17	0	2	7	13	3	5	3	6	3	1	3	0	1	40
6	佐久間 かなえ	X	0	0	2	0	6	0	0	3	1	1	2	1	1	0	25
7	塩田 紀子	X	14	0	7	6	9	2	2	0	0	0	3	1	2	0	40
8	飯塚 梨恵	/	7	1	2	2	5	0	0	0	1	2	4	2	3	0	26
9	高橋 美沙紀	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	菅野 絢	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	遠藤 蓉子	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	廣瀬 由紀子	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	太田 令菜	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	渡邊 桂子	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	矢上 若菜	X	2	0	1	1	5	0	2	2	1	0	3	0	0	0	29
コーチ	渋谷 正貴	/	/	/	/	/	/	/	/	0	7	11	/	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場		66	1	14	26	60	11	21	11	22	28	19	8	7	4	200	
確率		7.1%	43.3%	52.4%	計		50										

2分毎による得点の推移



戦評

富岡東(2年連続15回目、四国ブロック3位)、福島西(5年連続10回目、東北ブロック2位)の対戦は、試合終了のブザーが鳴るまで、勝敗の行方のわからない、エキサイティングな試合となった。第1Pは富岡東は#7遠藤が中心となって得点を重ねるのに対し、福島西は#4箭内、#5高田#7塩田の3人で得点を重ね16対20で第1Pを終了した。第2Pに入っても一進一退の状態は続き、引き離しにかかりたい福島西に対し、富岡東は#11奥原の効果的な3Pで点差を縮め、第2P終了間際に同点とし前半を終了した。後半、富岡東はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、試合の流れを変えようとするが、47対51で第3Pを終了した。第4P開始直後に富岡東は#4水上、#11奥原のシュートで追いつき、一度は逆転したものの、再び一進一退を繰り返した。残り3分に#11奥原の連続ゴールで4点差とした富岡東であったが、福島西もねばり強く頑張り、それ以上離されることはなかった。そして残り4.7秒、ドラマは始まった。福島西#4箭内がゴール下で同点のゴールを決め、続くフリースローを入れ1点のリードとなった。誰もがそのまま福島西の勝利かと思ったが、富岡東#11奥原がドリブルで持ち込んで放ったシュートが終了のブザーと同時にゴールを通過し、劇的な富岡東の勝利となった。(両チーム拍手。)

主審

渡辺 整

副審

鳥居 真奈

戦評

高橋 弘俊

(埼玉県高体連)